

親子聖書日課

[日]「主がお入り用なのです」と言って連れて来られたのは、弱々しい子ロバでした。全く役に立たないと思われた子ロバが、主に用いられました。今日の子ロバは、私達です。私にはできないと断るのではなく、子ロバに倣って、主に従いましょう。

[月]私達の目の前には、山のような問題が立ちただかることがあります。その時、思い煩わないで、祈ることです。本気で主を信じて祈るなら、どんな難問も解決します。神にできないことはありません。既に得たりと信ぜよ！信じるのが先です。

[火]皇帝の顔が刻まれたデナリオン銀貨は皇帝に捧げられました。それと同様、神の形に造られた私達は、身も心も主に献げるべきです。自分で働いて得たものであっても、全ては神から与えられたものです。献げるなら、何倍も祝されます。

[水]貧しいやもめの献金が「誰よりも沢山入れた」のは、他者よりも額が多かったわけではありません。「生活費の全部」十分の一でなく、十分の十、献げたからです。主を愛すればこそ、喜んで献げました。主は献げる人の心を御覧になります。

[木]世の終わりには、偽預言者が現われ、人々を惑わし、信仰を奪います。戦争の噂によって恐怖心を駆り立て、地震や飢饉によって不安に陥れます。「人に惑わされないように」日々御言葉を聴き、祈り合い、耐え忍んで、主の救いを得ましょう。

[金]主が再臨されるとしたら、今何をしますか。真剣に悔い改め、赦しを求め、福音を伝えるでしょう。「目を覚ましていなさい」とは、そう生きることです。主の再臨は確実に近づいています。いつ主が来られてもいいように、目を覚まして生きましょう。

[土]三百デナリオン(1年分の給料)もするナルドの香油を主に捧げるのは、もったいないと思う人は、主の愛を知らない人です。主は命を捨ててまで私達を愛して下さいました。それに応えて「できる限りのことをする」のは、当然のことです。



NO.1945 2026.1/4-10 名前

	聖書	問題	答え
日	マルコ 11:1-14	「主のお入り用なのです」と言って連れて来られたのは、何ですか。	
月	11:15-33	祈り求めるものは、すでに得られたと信じたら、どうなりますか。	
火	12:1-27	神のものは神にどうしなさいと、主は言われましたか。	
水	12:28-44	貧しいやもめは賽銭箱に生活費のどのぐらい入れましたか。	
木	13:1-23	しかし、最後までどうする者は救われますか。	
金	13:24-31	気をつけて、目をどうすべきですか。	
土	14:1-11	一人の女は何をイエスの顔に注ぎかけました	
感想と祈りの課題			